

## 編集後記

米国での同時多発テロ・タリバンへの報復戦争・生物兵器の炭疽病・わが国では狂牛病と、連日のように暗いニュースが報道され、騒がしい毎日が続いています。

一方、北海道や富士山からは初雪の便りが届き、夏の猛暑が嘘のような涼しい日々になりました。人間の騒々しさをしりめに季節は静かに移り変わっています。

さて、巻頭言は、本四公団第二管理局長・谷中幸和様から「長大橋保全に関する機械化への取り組み」と題し、同公団が進めている保全の課題と方針をご寄稿いただきました。随想は「生む苦しみAND DREAM」と題して、西尾レントオール(株)専務取締役・沢田進氏と「21世紀の雪国への期待」と題して北陸支部長の和田惇氏よりご寄稿いただきました。

一般報文は、工事施工関連が5編と機械開発関連が3編の構成になりました。「側部先行中央部揺動型三

連式泥水シールド機的设计と施工」では側部シールドの再使用を目的に従来の3連式シールドとは逆の構成が、「大型移動支保工によるPRC高架橋の上下線一括施工」では国道直上における4車線の高速道路の合理化施工が、「パンタドーム・プッシュアップ工法による大型石炭中継施設の鉄骨屋根建設」では巨大な屋根の14台のジャッキによる同時プッシュアップ工法が、「横行式オーガカッタによる地中連続壁の施工」では従来は鉛直の孔明けに使用されていたオーガカッタを横に移動させ地中壁を連続的に構築する工法が、「マサ土砂の生産実態と課題」では海砂の代替材であるマサ土砂を従来の湿式プラントに代わり乾式プラントで生産する試みが紹介されています。また、「道路維持管理用車両における圧縮天然ガス自動車の開発」ではディーゼルエンジンに代わり圧縮天然ガスを燃料とするエンジンの開発が、「再利用可能な二重構造

シールド掘進機の開発」では掘進機本体を二重構造にして到達後には外胴を残し、内胴を発進立坑までバックすることにより再利用と到達立坑が省略できるシールドが、「ハイボスト形マテリアルハンドリング機の開発」では建設工事に使用されている油圧ショベルの特性を活かした港湾荷役機械が紹介されています。

バラエティーに富んでいますが、再利用、工費縮減、工期短縮、迷惑軽減、環境保全等、いずれも建設工事に求められる課題に答えるものと言えます。

本誌が皆様のお手元に届くころは北国では除雪が始まっているでしょうか。向寒の砌、会員および読者の皆様方には一層のご自愛下さいますようお願いいたします。

最後にご多忙中にも関わらず、ご執筆いただきました皆様方に心からお礼申し上げます。

(坂本・橋本)

No.622 「建設の機械化」 2001年12月号 [定価] 1部 840円(本体800円) 年間9,000円(前金)

平成13年12月20日印刷 平成13年12月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明 印刷人 山田純一

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内  
電話(03)3433-1501;FAX(03)3432-0289;http://www.jcmanet.or.jp/

建設機械化研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 (吉原郵便局区内)	電話(0545)35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8 さつげんビル内	電話(011)231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 二日町東急ビル	電話(022)222-3915
北陸支	部〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5 白山ビル内	電話(025)232-0160
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル内	電話(052)241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27 大手前建設会館内	電話(06)6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 築地ビル内	電話(082)221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル内	電話(087)821-8074
九州支	部〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56 八重洲天神ビル内	電話(092)741-9380

印刷所 株式会社技報堂 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6